

平成27年7月現在、「可燃ごみ」という名称に変更されています。

することができます。
森林資源を守るために、燃せる

ごみを減らすためにも、引き続
き「古紙」の資源回収にご協力
ください。

今日からはじめよう! ごみのダイエクト通信

(7)



今回は、少し方向を変えて
「古紙の再利用」がテーマです。
皆さんは、紙の生産にはどれ
くらいの木が使われていると思
いますか？

皆さんのが森林を守っています！

町では、新聞紙、雑誌・チラ
シ、ダンボール、牛乳パックを

「古紙」として回収しています。

古紙の年間回収量は約1千2

00トン。1世帯当たりでは約
95kg。ちょうど立木2本分です。

皆さんには、知らず知らずのう
ちに立木2本分の森林資源を
守っているのです！

まだ紙類を燃せるごみに出し
てはいませんか？名刺サイズ以
上のものならば、古紙として出

100kgの紙つて木何本分？
紙100kg（約1万枚）を生
産するのに、筒状の立木（直径
14cm×長さ8m）が2本必要だ
と言われています。それを皆さ
んが出しているごみに置き換え
るはどうなるでしょうか？

